



第49回 社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会
第12回 日本精神保健福祉士学会学術集会

ソーシャルワーク実践 『魂』の再生

～ 問われる価値と専門性 ～

きまっし!!
石川大会

開催の
ご案内

きまっしね～
待ってるよ!!



ISHIKAWA

日程

2013年6月13日(木)～15日(土)

- ◆ 6月13日(木)：プレ企画
- ◆ 6月14日(金)、15日(土)：第49回全国大会・第12回学術集会

会場

金沢歌劇座 6月13日(木)、14日(金)

(石川県金沢市下本多町6番丁27番地)

金沢エクセルホテル東急 6月15日(土)

(石川県金沢市香林坊2-1-1)

【大会・学術集会参加費】 ● 構成員 (早割) / 8,000円 ● 非構成員 (早割) / 12,000円 ● 学生 (早割) / 5,000円

※その他の参加区分の説明は、P18の「お申込みのご案内」をご覧ください。

※早割申し込み締め切りは5月10日(金)正午12:00です。

全国大会・学術集会URL <http://www.japsw.or.jp/taikai/2013.html>

もくじ

開催テーマ・開催のご挨拶	1
全国大会・学術集会プログラム・第10回通常総会	2
プレ企画	3
基調講演・特別講演	6
記念講演	7
シンポジウム1	8
分科会1（午前）	9
シンポジウム2	12
分科会2（午後）	13
ポスターセッション	15
参加にあたって	16
主催・協力・後援一覧	17
お申し込みのご案内	18

問い合わせ先一覧

【社団法人日本精神保健福祉士協会事務局】

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F
電話：03-5366-3152 FAX：03-5366-2993 E-mail：office@japsw.or.jp

【全国大会・学術集会事務局】

医療法人社団長久会 加賀こころの病院 医療福祉相談室内

〒922-0831 石川県加賀市幸町 2-63
電話：0761-72-0880 専用携帯：080-6670-4947 ・ 090-6709-8911
FAX：0761-72-0875 E-mail：kokoro-chiiki-soudan@chokyu.gr.jp

【会場】金沢歌劇座 6月13日（木）、14日（金）

〒920-0993 石川県金沢市下本多町 6 番丁 27 番地
電話：076-220-2501 FAX：076-222-9000

金沢エクセルホテル東急 6月15日（土）

〒920-0961 石川県金沢市香林坊 2-1-1
電話：076-231-2411 FAX：076-263-0154

【旅行会社】有限会社タナカ企画 ツーリストクラブ石川 白山営業所

〒924-0805 石川県白山市若宮 3 丁目 3 5
電話：076-274-7787 FAX：076-274-7717

※本冊子は 2013 年 2 月 28 日現在の情報をもとに作成しております。今後、プログラム等に変更が生じた場合は、WEB サイトでご案内してまいります。

※本冊子では後援者、発表者等の敬称を省略させていただいております。

開催テーマ

ソーシャルワーク実践『魂』の再生

～ 問われる価値と専門性 ～

開催のご挨拶

第20回日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会全国大会（以下、第20回全国大会という。）を開催して以来、29年ぶりに金沢の地で第49回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第12回日本精神保健福祉士学会学術集会（以下、第49回全国大会・第12回学術集会という。）が開催されます。第20回全国大会は、本協会の前身である日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会設立20周年記念大会とされ20年史を発行するなど、資格のない時代でしたが、「Y問題」を乗り越え、新たな実践課題に向き合った時でもありました。当時のPSW実践は工夫に満ちたものでした。第18回日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会全国大会では「精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動を進めること」という協会の指針が示され、病棟の開放化や就労支援、共同住居、作業所、セルフヘルプグループ、デイケア、家族会活動等の取り組みの際には、必ず精神医学ソーシャルワーカーの存在がありました。その後精神保健福祉士としての国家資格が制度化されましたが、精神保健福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、ややもすると制度や政策に振り回され、ソーシャルワークそのものを危うくする側面がないとは言えません。



権利擁護における我々の立ち位置を巡る混迷や、本来ソーシャルワークの一技法であるケアマネジメントの手法のみが先行し、当事者のニーズを限定的なサービスに当てはめ、生活支援における幅広いニーズに応えきれないとの指摘など、制度運用に気を取られ当事者の真のニーズに対応できていない実践が見られるという事実もあります。そこで、第49回全国大会・第12回学術集会では、大会テーマを「ソーシャルワーク実践『魂』の再生～問われる価値と専門性～」とし、従来の全国大会のスタイルにシンポジウムを加え、重要課題について議論し、第1回日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会全国大会からの協会の半世紀を振り返り、PSWとして何ができ、どのような課題をもっているのか、今後どのような方向づけが必要なのか、「専門職としての価値と実践内容の統合」という私たちの存在意義を問う意味も含めた全国大会になればと願っています。

金沢は、歴史・文化・食・おもてなしの心を大切にしている街であり、現在、新幹線の開通に向けて、活気に溢れています。加賀温泉郷、能登半島など観光資源豊かな石川県は、日頃の疲れなど癒していただくには最高の土地でもあります。たくさんのご参加をお待ちしております。

最後に、本全国大会・学術集会を開催するにあたり関係機関の皆様を始め多くの方々の支援をいただき心より感謝申し上げます。

第49回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会
第12回日本精神保健福祉士学会学術集会
全国大会・学術集会長 岩尾 貢

全国大会・学術集会プログラム

6月13日 (木) 金沢歌劇座	午後	受付	12:00	13:00～15:00	30分	15:30～17:30		
			プレ企画1～3			プレ企画4～6		
			プレ1	何をすることが「家族支援」になるのだろうか? ～目からウロコの家族支援ワークショップ～	休憩	プレ4	育つ・育てる ソーシャルワーカーの成長を考える	
			プレ2	精神保健福祉士と相談支援 ～制度改正を見据えて～		プレ5	権利擁護の鍵は“本人本位” ～大切にしたいかわりの視点～	
プレ3	成年後見制度とは……? ～権利を守るための、 精神保健福祉士の役割を考える～	プレ6	見つめよう! 専門性 ～初心に立ち返って思うこと～					

6月14日 (金) 金沢歌劇座	午前	受付	9:00	9:45～10:15	15分	10:30～11:30	15分	11:45～12:30	60分
			開会式	休憩	基調講演: ソーシャルワーク実践『魂』 の再生～問われる価値と専門性～ 講師 荒田 寛 (龍谷大学)	休憩	特別講演: 精神保健福祉医療施策の現状と課題 ～精神保健福祉士に求めるもの～ (仮題) 講師 厚生労働省	昼食	
午後	休憩	13:30～14:45	30分	15:15～17:45	75分	19:00～21:00			
		記念講演: 司法の観点からソーシャルワーカーに期待すること～人と人とのかわりのあり方と社会で生きること～ 講師 甲斐中 辰夫 (卓照総合法律事務所弁護士)	休憩	第10回 通常総会	移動	懇親会 (金沢エクセルホテル東急)			

6月15日 (土) 金沢 エクセル ホテル 東急	午前	受付	9:00	9:15～12:00	60分
			シンポ ジウム1	ソーシャルワーク実践の進化を問う! ～『魂』は受け継がれているか?～	
			分科会1		
			1-①	地域移行支援を考える	
			1-②	医療機関における実践	
			1-③	高齢者および家族への支援	
			1-④	雇用および就労に関する支援	
			1-⑤	専門職の教育、養成	
	1-⑥	地域における多様な実践			
	1-⑦	権利擁護に関する課題や取り組み			
午後	休憩	13:00～15:45	15分	16:00	
		シンポ ジウム2	精神科医療と介護の連携 ～認知症の人たちの地域支援とは?～		
		分科会2			
		2-①	地域生活支援体制構築への視点や役割		
		2-②	ACT などアウトリーチ型の支援		
		2-③	児童・思春期における早期支援		
2-④	災害支援の取り組み				
2-⑤	精神保健福祉士の業務、役割、専門性				
2-⑥	多様な領域や課題に関する支援				
ポスターセッション					

第10回通常総会

6月14日(金) 15:15～17:45

金沢歌劇座

総会は、構成員が協会の運営に関して自身の意思を伝えることができる大切な機会です。6月14日に石川へお越しになっている構成員は、必ずご出席ください。

「総会受付」は休憩時間に複数回行う予定です。詳細は当日、本部事務局よりご案内いたします。

なお、2013年度ご入会の方には、本総会議決権はありません。参加形態は「傍聴」となりますことをご承知おきください。

必須アイテム→



Membership card



会章



事前送付の議案書

プレ企画3

成年後見制度とは……？

～権利を守るための、精神保健福祉士の役割を考える～

【時間】 13:00～15:00 【定員】 500名 【形式】 シンポジウム形式
【講師】 調整中 [講義内容：成年後見制度の課題と取り組みについて] (予定)
【コーディネーター】 鶴田 啓洋 (やどかりサポート鹿児島)
【シンポジスト】 岩崎 香 (早稲田大学人間科学学術院)
東 裕紀 (サンライフたきの里)
調整中

【内容】

2000年4月に成年後見制度がスタートし、その利用者が増えています。制度の主旨からいえば、適切な財産管理や、不当な契約から対象者本人を守るために、また、対象者の意思決定を支援して本人が望む生活を安心して送るために利用できるものでなければなりません。成年後見制度を、利用者の権利を擁護するための制度として活用するために、ソーシャルワーカーとして何をすべきであり、何ができるのでしょうか？

本企画では、様々な立場から成年後見制度の利用にかかわる精神保健福祉士として、あらためて、①成年後見制度の問題点や課題、②成年後見人等を精神保健福祉士が受任することの意味、③精神保健福祉士が後見制度を利用する対象者と関わる際に大切にしなければならない視点について検討し、今後の協会の活動にも反映できればと考えています。

プレ企画4

育つ・育てる ソーシャルワーカーの成長を考える

【時間】 15:30～17:30 【定員】 500名 【形式】 シンポジウム形式
【コーディネーター】 柏木 昭 (聖学院大学総合研究所名誉教授)
【報告者】 谷 香代子 (あすなろセンター)
松本 直樹 (井之頭病院)
相川 章子 (聖学院大学)

【内容】

ソーシャルワーカーは、当事者が自らの生活課題の解決や自己実現に向けて主体的に取り組むことができるよう支援することが必要です。そのため私たちソーシャルワーカーには自らの価値・知識・技術を向上させ、日々の「かかわり」を振り返るなかで自己研鑽していくことが求められます。

そこで、本企画ではソーシャルワーカーの成長をテーマに、職場での教育・指導(OJT)を行う立場やスーパービジョンを行う立場、教育現場でPSWの養成を行う立場からの実践報告をしていただき、その後のディスカッションを通してソーシャルワーカーとして「育つ・育てる」ことの課題や意義について考える機会とします。

プレ企画5

権利擁護の鍵は“本人本位” ～大切にしたいかかわりの視点～

【時間】 15:30～17:30 【定員】 150名 【形式】 ワークショップ形式

【講師】 蔭西 操（南加賀認知症疾患医療センター）
岡安 努（やたの生活支援センター）

【内容】

ソーシャルワーク実践では当事者の自己決定を軸にした「かかわり」のなかで、当事者の自己実現に向けた生活支援に取り組むことが求められます。その「かかわり」の過程において貫かれなければならない権利擁護の視点について再確認し、権利擁護が単なる法制度の理解や活用にとどまるものではなく、ソーシャルワーカー自身の「かかわり」のなかでこそ可能にしていくことの重要性を学ぶ機会とします。そこで講義・演習を通し、日々の「かかわり」を振り返り、参加者一人ひとりがこれからの実践の中で具体的に取り組んでいけることを考える機会とします。

プレ企画6

見つめよう！専門性 ～初心に立ち返って思うこと～

【時間】 15:30～17:30 【定員】 50名 【形式】 グループワーク形式

【講師】 寺西 里恵（野々市こころのクリニック）

【内容】

我々のソーシャルワーク実践が制度の枠組みの中での運営や日々の業務をこなすことのみにとらわれ、当事者のニーズに答えられていないという現場の課題があります。そうした状況の中で PSW は教育機関で学んだ理想と現場の現実との間でジレンマを抱え、時に実践の拠り所を見失うことでバーンアウトしてしまうことも少なくありません。

そこで、講義では「ひもときシート」を用いて、当事者の表面的な言葉やしぐさ・行動に込められた思いを「人と状況の全体性」から理解する視点を学び、ソーシャルワーク実践における価値・技術を深める機会とします。また、演習では初任者・中堅・ベテランがそれぞれ日々の悩んでいること・葛藤を感じることなどを話し合うなかで、初心に立ち返り、明日からの実践にむけたかかわりの点検の機会となればと考えています。

基調講演

6月14日（金）10:30～11:30

〈演題〉 ソーシャルワーク実践『魂』の再生 ～問われる価値と専門性～

〈講師〉 荒田 寛（龍谷大学）



—専門職としての価値と実践内容の統合—

我が国の精神保健福祉の制度施策が目まぐるしい変化を遂げている中で、精神保健福祉士に対する期待は大きくなっています。日本精神保健福祉士協会の50年の歴史の中で培ってきた当事者との「かかわり」の意味を再確認し、地域で暮らすための支援を付帯化することを可能にする、「かかわり合い（協働）」のソーシャルワークを展開する専門職としての価値とソーシャルワーク実践の統合について考えたいと思います。

特別講演

6月14日（金）11:45～12:30

〈演題〉 精神保健福祉医療施策の現状と課題 ～精神保健福祉士に求めるもの～（仮題）

〈講師〉 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課（予定）

〈演題〉 司法の観点からソーシャルワーカーに期待すること
～人と人とのかかわりのあり方と社会で生きること～

〈講師〉 甲斐中 辰夫（卓照綜合法律事務所 弁護士）

当時、東京地検次席検事であった甲斐中氏は、「オウム真理教事件特別捜査本部」本部長としてオウム真理教の教義を崩壊させ、真実を自白させるためには、被疑者の人間性を認め、生き様に共感しながら取り調べを行う検事の姿勢を重要視していました。被疑者の内的世界を理解し、かかわる検事の姿勢には精神保健福祉士とクライアントとのかかわりにおける共通点も多いと思われます。



今大会における記念講演では、様々な事件を通して人と人とのかかわりとは何か、心身喪失者等医療観察法の施行から触法障害者がどう社会で生きていくか、司法の立場から精神保健福祉士に期待することを話していただき、精神保健福祉士としてクライアントにかかわる姿勢を考える契機と考えています。

■講師 甲斐中 辰夫氏 プロフィール

昭和 15 年 1 月 2 日生まれ。兵庫県豊岡市出身。

中央大学法学部を卒業後、検事に任官し全国各地に転勤するが、その間、政治的・宗教的な確信犯による凶悪事件を数多く担当し、平成 7 年、オウム真理教事件発生の際は特別捜査本部長として事件解決に当たる。

その後、最高検次長検事、東京高検検事長を経て、最高裁判事となり、7 年余り裁判官として各種事件の審理を行う。

平成 22 年、最高裁判事を退官したのち弁護士となり、オリンパス（株）の不正経理に関する第三者委員会の委員長として真相解明と会社再建の方策を示すなど著名事件で活躍。

平成 24 年 11 月 旭日大綬章受賞。

テーマ

**ソーシャルワーク実践の進化を問う！
～『魂』は受け継がれているか？～**

- 【コーディネーター】 西澤 利朗 (目白大学人間学部人間福祉学科 教授)
【報告者】 門田 晋 (むげん 代表)
梶元 紗代 (まきび病院訪問看護室 室長)
岡部 正文 (立川メディカルセンター
茨内地域生活支援センター 施設長)
岩尾 貴 (石川県健康福祉部障害保健福祉課)
山田 伸 (聖康会病院)

【内容】

国家資格化以前の精神医学ソーシャルワーカーは、当事者との関係性を基軸に、本人の望む暮らしを共に考える協働のかかわりを重視してきました。そうしたソーシャルワーク実践は時に制度の枠を超え、共同住居や地域の作業所での取り組みに発展し、その必要性が示される中で制度化される等、当事者のニーズに基づいたかかわりの中で絶えず進化してきました。その一方で、精神保健福祉士による実践は法制度における役割や周囲からの要望に応えることを優先し、制度の枠組みの中での運営や業務をこなすことにとらわれているとの課題性が指摘されています。

そこで、資格化以前のソーシャルワーク実践と現在の精神保健福祉士の実践について、それぞれの立場から報告していただき、ソーシャルワーカーの役割や実践のあり方について再考します。また、フロアも含めたディスカッションを通して、ソーシャルワーク実践における価値と専門性とは何かを深め、更に「ソーシャルワーク実践『魂』の再生」について考える機会にしたいと思います。

1 - ① 地域移行支援を考える

- 1 高齢精神障害者の地域移行・地域生活支援システムに関する一考察
○下川 美香・古市 尚志(浅香山病院)
- 2 「自立訓練(生活訓練)事業」～障害者自立支援法移行後3年を経過して～
○磯崎 輝明・鈴木 伸彦・塩崎 一昌(横浜市総合保健医療センター)
- 3 さらなる医療と福祉の連携への取り組み～地域移行・定着に向けた連携強化プログラムの紹介～
○串上 憲司・中田 弥生・小野 真由美・岡本 一郎・大東 梨沙(有馬高原病院)
- 4 病院併設型施設への退院～生活支援の手立てと課題～
○中本 泰輔・下垣 綾子・福里 文音(ひまわりホーム)、佃 正信(新生病院)
- 5 慢性期病棟における家族教室の立ち上げと実践について～関わりの中で築かれるもの～
○新藤 さやか(慈雲堂内科病院)
- 6 精神障害者の退院支援における要因研究
○越智 裕子(藤仁館学園)

1 - ② 医療機関における実践

- 1 単科精神科における地域医療連携室～精神保健福祉士の役割は変化したのか～
○田淵 麻起子・平 則男・山本 祐治(阪南病院)
- 2 早期退院・再入院予防のために～「グリーン紙」で“人となり”を知る～
○澤野 文彦・船山 智代・勝又 美智子(沼津中央病院)
- 3 医療観察法病棟チーム医療における精神保健福祉士の役割の考察
○谷所 敦史(菊池病院 臨床研究部)
- 4 民間単科精神科病院における発達相談窓口の取り組み
○箭内 友子(大湫病院)
- 5 病診連携における精神保健福祉士の役割～相談室グループワークを通して～
○後藤 敦子・竹内 健・中島 治美・野崎 久美子・藤田 恵未・宮越 裕治・脇田 久美子
(総合心療センターひなが)
- 6 医療観察法医療を応用した利用者主体の再燃予防への取り組み
～セルフモニタリング表とクライシスプランを活用した支援の検討～
○狩野 俊介(さいがた病院)

1 - ③ 高齢者および家族への支援

- 1 グループホーム利用者の高齢化に伴う生活支援から見える課題
○表 秀雄・西田 笑美・深山 絵理・沖野 来夢・生駒 千晴・杉森 星海・奥村 友菜・
松尾 彩貴・荒田 稔(栗津神経サナトリウム)
- 2 ケアホームにおける高齢精神障害者への支援とその課題
～介護支援専門員と連携を図った事例からの一考察～
○中條 了・上村 啓子・中東 清美・藤井 弘(京都市中部精神障害者地域生活支援センター
「なごやかサロン」)、原 陽子(ハッピーナビゲーション)

- 3 認知症高齢者を支援する、介護支援専門員へのアンケートを通して考えること
○城間 直也（新垣病院）
- 4 介護支援専門員からみた介護と精神科医療との連携に関する課題
○金子 努・越智 あゆみ（県立広島大学）
- 5 自分らしい最期を支えるために～人生の完成に寄り添うかかわりとは～
○長 原野（南部病院）
- 6 家族面接における精神保健福祉士の役割～インタビュー面接を通して～
○和光 紋・井上 薫子（長谷川病院）

1 - ④ 雇用および就労に関する支援

- 1 就労支援事業所のなかでの精神保健福祉士の専門性について～支援者として求められる意識～
○和泉 亮（ウイングル大阪枚方センター）
- 2 IPSの特徴を活かした就労支援の実践
～ストレングスマodelにおける就労支援の葛藤に関する一考察～
○小野 彩香・高橋 由佳・坂上 友恵・越後 重貴・田口 雄太（Switch）
- 3 リワークプログラムにおける精神保健福祉士の役割
○後藤 智行（柏メンタルクリニック・三軒茶屋診療所）
- 4 EAPによる職場復帰支援
○青木 正（東京福祉大学）
- 5 高次脳機能障害の方の所得保障についての一考察～国民年金対象者の例から～
○隅原 聖子（広島県立障害者リハビリテーションセンター）

1 - ⑤ 専門職の教育、養成

- 1 医療観察法に関する実習・講義の効果と意義
○常増 健二（菊池病院）
- 2 精神科病院での退院支援は学生の目にどのように映ったか
～実習で学生が体験したことを教員としてどのように受け止め考察するか～
○宮沢 和志（名古屋医専）
- 3 演習教育における事例作成の意義と事例活用に関する一考察
○杉原 努（佛教大学 福祉教育開発センター）
- 4 精神保健福祉士養成カリキュラム改正に伴う実践現場への影響等に関する調査
○森山 拓也・渡辺 道代・向井 智之・吉澤 豊・白須 誠・関原 靖（日本福祉教育専門学校）
- 5 精神保健福祉士養成校における現状と課題について～東北文化学園大学の状況から～
○大竹 伸治・森谷 就慶・若林 真衣子（東北文化学園大学）
- 6 静岡県精神保健福祉士協会が主催する研修の体系化への取り組み
～ソーシャルワーカーとしての成長を求めて～
○望月 信吾（溝口病院）、水野 拓二（鷹岡病院）、菅原 小夜子（こころ）、
山本 恵理子・増田 喜信（三方原病院）、川嶋 章記（だんだん）
纈纈 久仁・松浦 大介（川口会病院）、船山 智代（沼津中央病院）、
高田 絵里（田方・ゆめワーク）、藤田 尚（菊川市立総合病院）、吉川 公章（福井県立大学）

1 - ⑥

地域における多様な実践

- 1 夜間の電話対応における精神保健福祉士の視点としての一考察
○相川 香織・香田 道丸（千葉県中核地域生活支援センター ひだまり）、
清水 洋延（亀田総合病院）
- 2 利用者主体の精神科訪問看護～ニーズ把握調査を通して～
○山川 千尋・青戸 忍・山本 典子・多田 博貴・吉良 由美子・中谷 加奈子（養和病院）
- 3 統合失調症患者に対し在宅で心理教育を実施した事例
○藤本 悠子（福智クリニック）、福智 寿彦（すずかけクリニック）
- 4 通院以外に社会参加していない「非社会参加群」への精神保健福祉士による関わり
～精神科診療所を拠点として社会参加へ～
○富澤 一洋（こころのクリニック石神井）
- 5 臨床動作法を用いた地域の繋がり作り～市民対象の勉強会の経過から～
○加藤 光士（慈恵中央病院）
- 6 和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会会員の職場環境とストレス・満足度等に関する調査
○木村 正雄・山崎 誠・岩橋 千紗子・原見 美帆・川乗 賀也
（和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会）

1 - ⑦

権利擁護に関する課題や取り組み

- 1 千葉県精神保健福祉士協会 権利擁護委員会の取り組み～もっと POP に権利擁護～
○木津 英昭・佐藤 久顕（こころの風元気村）、福田 裕子（南八幡ワークス）、
飯ヶ谷 徹平・篠崎 哲弥（グループホームすずらん）、
高久 光子・紺屋 真由美（サンワークぱれっと）、今井 知子（袖ヶ浦さつき台病院）
- 2 障害年金を専門に扱う社会保険労務士と精神保健福祉士との連携と協働
～社会保険労務士の活用と可能性に焦点化して～
○河野 康政（かもめクリニック）、阪田 憲二郎（神戸学院大学）、
青木 聖久・小島 寛（日本福祉大学）、荒川 豊（豊科病院）
- 3 日本精神保健福祉士協会苦情処理規程の守秘義務違反の取り扱いにかかる課題
～日本精神保健福祉士協会による懲罰処分の事例から～
○桐原 尚之（立命館大学大学院 先端総合学術研究科）
- 4 倫理・身上監護セルフチェックシートと課題抽出シートの考案
～認定成年後見人ネットワーク「クローバー」活動報告～
○長谷川 千種（昭和大学附属烏山病院）、岩崎 香（早稲田大学人間科学学術院）、
齋藤 敏靖（東京国際大学）、今村 浩司（西南女学院大学）、
安部 裕一（北九州成年後見センター）、高石 大（もとぶ記念病院）、
西川 健一（あさがお）、岩崎 弘幸（紫雲会横浜病院）、毛塚 和英（桜ヶ丘記念病院）、
齋藤 憲磁（日本社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあ）
- 5 成年後見制度における意思決定支援～制度の限界と実践の可能性～
○岩崎 香（早稲田大学人間科学学術院）、門屋 充郎（十勝障がい者支援センター）、
岩上 洋一（じりつ）

精神科医療と介護の連携～認知症の人たちの地域支援とは？～

【コーディネーター】 館石 宗隆（札幌市保健福祉局認知症支援・介護保険担当部長）

【報告者】 勝又 浜子（厚生労働省老健局高齢者支援課

認知症・虐待防止対策推進室 室長）

山本 めぐみ（浅香山病院医療福祉相談室）

宮島 渡（恵仁福祉協会 常務理事・

高齢者総合施設アザレアンさなだ 施設長）

北村 立（石川県立高松病院 副院長）

高村 智子（加賀市地域包括支援センター）

【内容】

厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチームによる「今後の認知症施策の方向性について」が平成24年6月に出されました。その中で、「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」の実現を今後の目指すべき目標としています。目標の実現に向けては、精神科病院や施設への入院・入居に頼ったケアの流れを変え、認知症ケアパスの導入により状態に応じた適切な支援体制を構築するとし、7つの視点からの取り組みを謳っています。また、平成24年9月に公表された「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」では、これまでの病院・施設を中心とした認知症ケア施策を、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる在宅中心の認知症施策へシフトすることを目指し、地域で医療や介護、見守りなどの日常支援サービスを包括的に提供する体制づくりを目指し、具体的な方策がまとめられています。

日本精神保健福祉士協会においても、精神症状等を有する認知症患者の地域生活を支える医療支援・サービスのあり方について、地域における実践事例や実態調査を踏まえ、精神科病院や地域の介護保険サービス事業所等との連携方策やサービス提供のあり方の提言に資するため、平成23年度障害者総合福祉推進事業において「精神症状等を有する認知症患者に係る退院支援パス等の地域連携の推進に関する調査事業」を実施しています。

これらの経緯も踏まえ、当事者が望む暮らしの実現に向けた地域生活支援のあり方（自己実現に向けた自己決定の尊重や権利擁護のあり方など地域で暮らすことを支えるためのかわりの視点、高齢者本人が求める生活支援の実際や課題、地域の持つ当事者性や共時性等）を議論し、生活を中心にした医療と介護の連携のあり方とそこでソーシャルワーカーの役割を考える機会にしたいと思います。

2 - ① 地域生活支援体制構築への視点や役割

- 1 入院医療中心から地域生活中心へ～精神保健福祉士へのアンケート調査報告～
○藤井 宏昭・有本 泰成・正木 典子・平田 昌代(姫路市保健所)、
阪本 咲香(姫路市西保健センター)
- 2 アウトリーチ推進事業を通しての地域支援体制の構築
○斎藤 綾子・倉田 隆明(鈴鹿厚生病院)、稲葉 智子(三重県健康福祉部障がい福祉課)
- 3 レスパイト・ケア事業の取り組みについて
○木村 衣里・中富 俊文・堂前 美春・中田 なみ子・荒田 稔(なごみの郷)
- 4 社会資源開発における精神保健福祉士の役割
～三原市障害者住居確保支援会議を通して考察する～
○長谷部 隆一(地域生活支援センターさ・ポート)
- 5 ニーズとサービスの合意形成が困難な方への相談支援事業所の役割
○築山 彩子(芦屋メンタルサポートセンター 相談支援事業所)、木下 隆志(関西国際大学)
- 6 三原市自殺対策連携推進会議において精神保健福祉士が担う役割
～福祉アクセシビリティが確保された相談支援システムの構築を目指して～
○越智 あゆみ(県立広島大学)、長谷部 隆一(地域生活支援センターさ・ポート)

2 - ② ACTなどアウトリーチ型の支援

- 1 本人と家族のリハビリを促す精神保健福祉士の支援～ACTの実践を通して～
○石川 三絵・橋本 東代子・金井 浩一・水嶋 美之(たかぎクリニック)、
三品 桂子(花園大学)、佐藤 純(京都ノートルダム女子大学)
- 2 ACTスタッフにおける家族支援に対する認識～提供される家族支援との関連から～
○佐藤 純(京都ノートルダム女子大学)、岡田 愛(竹村診療所)、三品 桂子(花園大学)
- 3 多職種アウトリーチチームにおける精神保健福祉士の役割と視点～何も出来ない私ですが～
○佐々木 育美・新居 昭紀・上久保 真理子・杉浦 宗徳・菅沼 映里(ぴあクリニック)
- 4 ACTにおける入院回避支援～誰のため、何のための入院かを考える～
○稲山 耕平(ACT-Zero 岡山・大和診療所)
- 5 地域が受け入れにくい当事者に支援を届ける精神保健福祉士の役割
～多職種アウトリーチチームの実践から～
○橋本 東代子・石川 三絵・金井 浩一・水嶋 美之(たかぎクリニック)、
佐藤 純(京都ノートルダム女子大学)、三品 桂子(花園大学)

2 - ③ 児童・思春期における早期支援

- 1 キーパーソン不在の未成年者に対する自立支援
○木村 千尋・岩井 佑美(向陽台病院)
- 2 精神障がいの親と暮らす子どもへの支援についての一考察
○宮越 裕治(ささかわ通り心・身クリニック)、土田 幸子(三重大学医学部看護学科)、
和田 正子(三重県庁)

- 3 児童福祉領域における、生活支援の専門的支柱としての「RSC 活動」
～地域とのつながりを広げるスポーツクラブの実践から、生活支援への浸透を目指して～
○上野 陽弘（こどもの心のケアハウス 嵐山学園）
- 4 精神疾患をもつ若者のリカバリー～実践から見てきたもの～
○山本 綾子・足立 孝子・濱 幸伸（三重県立こころの医療センター）
- 5 若者と家族のストレングスに焦点をあてた早期支援・過渡期支援
～ニュージーランドにおける早期支援プログラムから～
○藤島 薫（東京福祉大学）

2 - ④ 災害支援の取り組み

- 1 「福島における被災者支援①」～専門職団体の連携による支援～
○菅野 正彦（桜ヶ丘病院）、鈴木 長司（東北病院）、松本 マチ子（針生ヶ丘病院）、
菅野 直樹（福島赤十字病院）
- 2 「福島における被災者支援②」～広域避難を強いられた事業所に対する支援～
○菅野 直樹（福島赤十字病院）、鈴木 長司（東北病院）、藤原 正子（福島学院大学）、
熊谷 陽子（清水病院）
- 3 福島県における精神保健福祉士の役割Ⅰ～震災後、1年を振り返って～
○塩田 義人・佐藤 初美・岩崎 香織・松島 輝明（ふくしま心のケアセンター）
- 4 福島県における精神保健福祉士の役割Ⅱ
～ふくしま心のケアセンターに勤務する20代精神保健福祉士の葛藤～
○松島 輝明・佐藤 初美・塩田 義人・岩崎 香織（ふくしま心のケアセンター）
- 5 就労支援と災害支援で行ったアウトリーチ型ソーシャルワークの重要性
～アウトリーチ型ソーシャルワークにより自立へと繋がった2例～
○横山 泰三（中山心療クリニック）

2 - ⑤ 精神保健福祉士の業務、役割、専門性

- 1 精神保健福祉領域におけるソーシャルワーカーの専門性とは何か
～当事者へのインタビュー調査から考える～
○吉岡 夏紀（こまつ障害者就業・生活支援センター）、荒田 寛（龍谷大学）
- 2 地域生活支援におけるピアサポートの有効性と支援者の役割
○東 照己・水間 公香（三国丘病院）、中本 明子（サポートセンターむ～ぶ）、
小出 保廣（ちぬが丘保健センター）
- 3 精神科病院における組織内ピア・グループ・スーパービジョンの実践
○古市 尚志・佐古 真紀・山本 めぐみ・田坂 悦子・駒野 敬行・小下 ちえ・今西 綾子・
横溝 稔・倉橋 桃子（浅香山病院）
- 4 聴覚障害と精神障害を併せ持つ人の理解と支援行為のプロセス
～精神保健福祉士へのインタビュー調査による M-GTA 分析～
○赤畑 淳（立教大学）
- 5 スクールソーシャルワークにおける精神保健福祉士の役割
～マイクロ・メゾ・マクロレベルでの役割分類を中心に～
○大西 良（久留米大学 比較文化研究所）

6 「精神保健福祉士業務指針」の意義と課題

- 岩本 操 (武蔵野大学)、古屋 龍太 (日本社会事業大学)、赤畑 淳 (立教大学)、
西澤 利朗・井上 牧子 (目白大学)、大西 良 (久留米大学)、加藤 雅江 (杏林大学病院)、
國重 智宏 (日本福祉学院)、栗原 活雄 (陽和病院)、山中 達也 (山梨県立大学)、
田村 綾子 (聖学院大学)、木太 直人 (日本精神保健福祉士協会)

2 - ⑥

多様な領域や課題に関する支援

- 1 精神保健福祉領域における手話通訳者の Professional Standards の現状と課題
○高山 亨太 (日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程)
- 2 保護観察所における覚せい剤事犯者へのグループワーク
～スーパーバイザーの立場から見てきたもの～
○北本 明日香 (日本社会事業大学)
- 3 SMARPP (薬物依存症治療プログラム) を用いた依存症専門病院での実践報告
○小河原 大輔・砂川 奈生実 (赤城高原ホスピタル)
- 4 共依存者への音楽療法の可能性
～音・声・音楽・身体を用いたグループワークによる人間関係変容への影響～
○長谷川 美津子 (東京福祉大学大学院 博士課程後期)
- 5 和歌山市における障害者アートの取り組み
○峰政 裕一郎 (ももたにクリニック)

ポスターセッション

6月15日(土) 13時から大会終了まで掲示(予定)

- 1 広汎性発達障害のあるA氏を通して地域支援を考える
○長田 洋子・末廣 奈緒美・飯田 亜希 (ときわ病院)、
平 七菜 (グループホーム・ケアホームすまいる)、荒田 稔 (なごみの郷)
- 2 高齢者虐待予防における精神保健福祉士への期待～家族を虐待者にしないために～
○梅崎 薫 (埼玉県立大学)
- 3 当事者が意欲的に活動できる地域づくり支援
～ピアサポート講習会からのエンパワメントの向上へ～
○行實 志都子・柴田 貴美子・水野 高昌 (文京学院大学)、齊藤 淳 (ふじみ野市役所)、
高橋 綾子 (ふじみ野市障害者相談支援センター)
- 4 WRAP (元気回復行動計画) の活用に関する研究
～集中クラス参加後の活用実態に関するアンケート調査からの考察～
○寺澤 法弘 (WRAP 名古屋・日本福祉大学)

演題名や発表者名・所属名は、2013年2月26日現在のものです。

参加にあたって

■プレ企画について

お申込みなく当日お越しいただいても大会に参加いただくことはできますが、空席のないプレ企画にはご参加いただけません。

■シンポジウム・分科会について

シンポジウムと分科会は同時間枠で開催されています。各分科会の移動は自由ですが、座席には限りがあるため、ご希望のプログラムを着席してお聞きいただけない場合がありますことをご了承ください。

なお、演題発表中、講演中の移動はご遠慮ください。

■情報保障について

6月14日：手話通訳・要約筆記あり

その他についてはご相談ください。

※インターネット、FAXでのお申し込み時に、備考欄へご希望をお書きください。

■撮影・録音について

会場内における撮影・録音は、全国大会・学術集会事務局や登録された報道関係者、全国大会・学術集会長が許可した方に限ります。

分科会発表者ご自身は、発表に際して「共同発表者または関係者が撮影・録音をする」旨を会場内にアナウンスしていただいた場合に限り、撮影・録音を許可いたします。その他の撮影・録音は固くお断りいたします。

許可のない撮影・録音行為が認められた場合、会場スタッフが記録媒体からデータの消去等、然るべき対応を取らせていただきますことをご了承ください。

■その他

会場内では、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定いただき通話はお控えください。

他の参加者へご配慮くださいますようお願いいたします。

参加される皆様が関係するイベント等の周知の機会として、会場内には自由配布コーナーを設けております。どうぞご利用ください。

主催・協力・後援一覧

【主催】社団法人日本精神保健福祉士協会（日本精神保健福祉士学会）

【協力】社団法人日本精神保健福祉士協会石川県支部
石川県精神保健福祉士会

【後援】（予定含む）

厚生労働省、石川県、金沢市、公益社団法人日本精神科病院協会、公益社団法人日本精神神経科診療所協会、社団法人日本医師会、社団法人日本精神科看護技術協会、公益社団法人日本看護協会、財団法人日本精神衛生会、日本病院・地域精神医学会、一般社団法人日本作業療法士協会、特定非営利活動法人日本障害者協議会、日本障害フォーラム、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、特定非営利活動法人障害者インターナショナル日本会議、特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会、特定非営利活動法人全国精神障害者団体連合会、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンポ、社団法人日本てんかん協会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、きょうされん、社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会、全国精神保健福祉相談員会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本医療社会福祉協会、日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会、日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、社団法人日本介護福祉士会、全国救護施設協議会、社団法人日本社会福祉教育学校連盟、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会、社団法人日本精神神経学会、一般社団法人日本総合病院精神医学会、社団法人全国自治体病院協議会、全国保健・医療・福祉心理職協会の会、日本児童青年精神医学会、日本集団精神療法学会、日本精神保健看護学会、日本臨床心理学会、日本デイケア学会、国立精神医療施設長協議会、全国精神保健福祉センター長会、公益社団法人認知症のひとと家族の会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、SST普及協会、公益社団法人日本精神保健福祉連盟、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本職業リハビリテーション学会、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会、社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会、財団法人日本知的障害者福祉協会、社会福祉法人中央共同募金会、更生保護法人日本更生保護協会、日本弁護士連合会、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート、日本司法書士会連合会、公益財団法人社会福祉振興・試験センター、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本言語聴覚士協会、特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会、社団法人日本社会福祉士養成校協会、全国保健所長会、全国衛生部長会、全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク、一般社団法人日本精神保健福祉事業連合、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会、株式会社福祉新聞社、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、金沢保護観察所、石川県精神神経科診療所協会、日本精神科病院協会石川県支部、石川県医師会、公益社団法人金沢市医師会、石川県神経科精神科医会、石川県精神障害者支援事業所連絡会、石川県精神障害者家族会連合会、公益社団法人石川県看護協会、社会福祉法人石川県社会福祉協議会、金沢市社会福祉協議会、石川県歯科医師会、社団法人石川県薬剤師会、特例社団法人日本精神科看護技術協会石川県支部、石川県医療ソーシャルワーカー協会、社団法人石川県作業療法士会、一般社団法人石川県社会福祉士会、石川県臨床心理士会、一般社団法人石川県介護福祉士会、一般社団法人石川県言語聴覚士会、石川県介護支援専門員協会、公益社団法人石川県栄養士会、公益社団法人石川県理学療法士協会、金沢弁護士会、石川県相談支援専門員協会、石川県保険医協会、日本認知症グループホーム協会石川県支部、石川県障害者職業センター、石川テレビ、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送、MRO北陸放送、朝日新聞社金沢総局、読売新聞社北陸支社、北國新聞、中日新聞北陸本社、毎日新聞社中部本社（順不同）

お申込みのご案内

歓迎のご挨拶

この度、6月13日(木)～6月15日(土)の3日間において「第49回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第12回日本精神保健福祉士学会学術集会」が、石川県にて開催されますことを心よりお祝い申し上げます。大会にご参加いただく皆様に当地にお迎えするにあたりまして、ご参加・宿泊・弁当等のお世話を弊社にご用命賜り厚く御礼申し上げます。

本大会のご成功をお祈りすることはもとより、社員一同万全の体制で取組み、ご満足のいただける大会となりますよう一生懸命お世話させていただき所存でございます。

皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

ツーリストクラブ石川 白山営業所 所長 天王地 広隆

■参加費

区分	3日間参加	
	プレ企画+大会・学術集会	
	早割(★1)	通常
構成員(★2)	10,000円	12,000円
非構成員	14,000円	16,000円
学生(★3)	6,000円	7,000円

オプション	
懇親会	7,000円
弁当	700円～950円
宿泊	選択内容による

プレ企画のみ	選択参加	
	大会・学術集会のみ	
	早割(★1)	通常
3,000円	8,000円	10,000円
3,000円	12,000円	14,000円
2,000円	5,000円	6,000円

登録代行手数料(★4)	
インターネット申込み	525円
FAX申込み	840円

★1:「早割参加費」は、5月10日(金)正午12:00時点での申込みが対象となります。

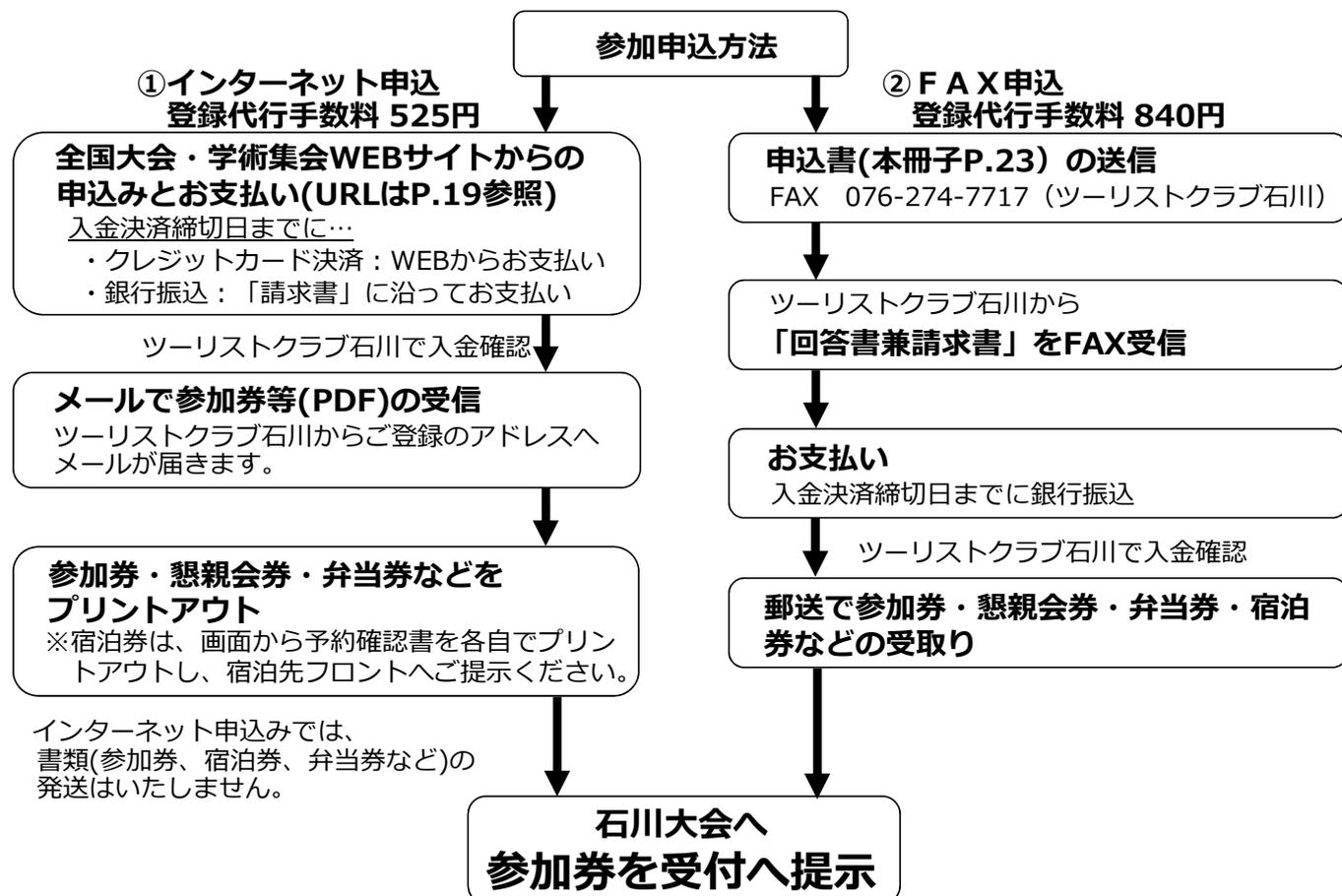
(インターネット申込みはWEB上での申込みが完了していること、FAX申込みはツーリストクラブ石川へ着信していることが条件です)

★2:「構成員」とは、社団法人日本精神保健福祉士協会に入会している方のことです。賛助会員は「構成員」区分でお申込みください。

★3: 構成員の方は、「学生」区分での参加はできません。学生会員は「学生」区分でお申込みください。

★4:「登録代行手数料」は、参加者への通信費等の経費であり、大会主催者事務局からの依頼に基づき、ツーリストクラブ石川 白山営業所が代行收受するものです。

■参加申込方法・申込先・お支払方法の流れ



■参加申込方法・申込先・お支払方法のご案内

- (1) お申込は、**①インターネット** (登録代行手数料525円)
②FAX (登録代行手数料840円) の2種類からお選びいただけます。
- (2) 申込締切日 **◆早割締切** 2013年5月10日(金) 正午12:00
◆通常締切 2013年5月31日(金) 正午12:00

① インターネット申込<オススメ> **※登録代行手数料525円**

インターネットでお申込されますと、専用IDとパスワードで、いつでも予約内容の確認ができますのでオススメです。

●全国大会・学術集会URL : <http://www.japsw.or.jp/taikai/2013.html>

◎申込方法 上記URLにアクセスしていただき、メインメニューの参加申込から、申込みの流れに沿ってお手続きください。



本大会では、環境保護エゴの観点から、ペーパーレスを実施しております。

- ・参加券、懇親会券、弁当券などの書類は、入金確認後、メール(PDF)でご登録のアドレスにお送りしますので、各自でプリントアウトし、当日ご持参ください。
- ・宿泊券は、画面から予約確認書を各自でプリントアウトし、宿泊ホテルのフロントにご提示ください。

※大会参加自体を取り消される場合は、受付期間内であっても、必ず書面(FAX等)にてご連絡ください。(P.22参照)

② FAX申込 **※登録代行手数料840円**

◎申込方法 本冊子巻末の申込書に必要事項をご記入の上、FAX(または郵送)してください。



「回答書兼請求書」を数日以内にFAXにてご返信いたします。

ご入金確認後、参加券、宿泊券、弁当券、懇親会券の書類を発送いたします。

申込種類		決済方法	締切日	入金決済締切日
早割	インターネット	クレジット決済	5月10日(金) 正午12:00	5月17日(金) 15:00
		銀行振込		
	FAX★	銀行振込		

★FAX受付後に送信致します「回答書兼請求書」に基づき、入金締切日までに振込み下さい。

<早割の入金に関するご注意>

- ・早割の方は、上記の入金決済締切日までに必ずご入金下さい。
- ご入金の確認ができない方は、早割申込が自動的にキャンセルとなります。
- ご注意ください。改めて通常申込をお願いいたします。

申込種類		決済方法	締切日	入金決済締切日
通常	インターネット	クレジット決済	5月31日(金) 正午12:00	6月7日(金) 15:00
		銀行振込		
	FAX	銀行振込		

支払方法選択

- ◆クレジットカード決済：インターネット申込の方に限ります。入金決済締切日までに、インターネットよりログインをして「決済ページ」へ進み、オンラインクレジット決済をお願いします。
- ◆銀行振込：FAX申込の方全員、およびインターネット申込の振込希望者が対象となります。
- 「回答書兼請求書」または「請求書」をご確認のうえ、入金決済締切日までにご入金ください。
- ※振込手数料は、お客様ご負担となりますので予めご了承ください。

領収書のご希望

領収書をご希望の方は、大会当日、会場のツーリストクラブ石川のブースにて、領収書をお渡しいたします。本冊子巻末の「領収書発行依頼書」に、必要事項をお書きのうえ、ツーリストクラブ石川へFAXしてください。参加費(プレ企画、全国大会・学術集会)は、「社団法人日本精神保健福祉士協会」発行の領収書となります。

<ご注意>

- ・お申込なく当日お越しいただいても全国大会・学術集会に参加いただくことはできませんが、空席のないプレ企画にはご参加いただけません。
- ・シンポジウム・分科会の座席には限りがあるため、ご希望のプログラムを着席してお聞きいただけない場合がございます。
- ・通常締切(5/31)以降のお申込につきましては、ツーリストクラブ石川にご相談ください。

■ご予約弁当（旅行契約ではありません）

会場付近にはお食事場所もございますが、お申込み受け付け順によるご予約弁当もご用意しております。当日販売はありません。限定数に達した場合は調整させていただく場合がございます。ご了承ください。

【6月14日（金）販売分】

申込記号	お弁当	金額	販売数量	業者名
ア	珠姫弁当+お茶 ※旬の食材を使ったおいしい幕の内弁当	750円	限定300食	グリル星が岡
イ	ヒゲチョウ弁当+お茶 ※台湾の伝統料理の魯肉飯を手軽に楽しめる	750円	限定300食	ヒゲチョウ
ウ	ヘルシー弁当+お茶 ※手作りにこだわったヘルシー弁当	750円	限定100食	ますますくらぶ
エ	恵み弁当+お茶 ※主菜に魚・肉・揚げ物とボリューム満点	750円	限定100食	ライフクリエートかほく
カ	鴨のサンドイッチ+お茶 ※石川産の米粉を使ったパンで鴨肉をサンドイッチ	700円	限定数無し	駅弁/高野商店
キ	加賀てまり寿司+お茶 ※「加賀手鞠」がモチーフの一口サイズの可愛いお寿司	850円	限定数無し	駅弁/高野商店
ク	石川県特産品弁当+お茶 ※四季の美しさをかたどった彩りも鮮やかな食材弁当	950円	限定数無し	駅弁/高野商店

【6月15日（土）販売分】

申込記号	お弁当	金額	販売数量	業者名
ア	珠姫弁当+お茶 ※旬の食材を使ったおいしい幕の内弁当	750円	限定300食	グリル星が岡
イ	ヒゲチョウ弁当+お茶 ※台湾の伝統料理の魯肉飯を手軽に楽しめる	750円	限定300食	ヒゲチョウ
ウ	ヘルシー弁当+お茶 ※手作りにこだわったヘルシー弁当	750円	限定100食	ますますくらぶ
エ	恵み弁当+お茶 ※主菜に魚・肉・揚げ物とボリューム満点	750円	限定100食	ライフクリエートかほく
オ	なごみ弁当+お茶 ※野菜たっぷりでのこの日のみの限定販売	750円	限定50食	就労センターつばさ
カ	鴨のサンドイッチ+お茶 ※石川産の米粉を使ったパンで鴨肉をサンドイッチ	700円	限定数無し	駅弁/高野商店
キ	加賀てまり寿司+お茶 ※「加賀手鞠」がモチーフの一口サイズの可愛いお寿司	850円	限定数無し	駅弁/高野商店
ク	石川県特産品弁当+お茶 ※四季の美しさをかたどった彩りも鮮やかな食材弁当	950円	限定数無し	駅弁/高野商店

申込記号【ア】



申込記号【イ】



申込記号【ウ】



申込記号【エ】



申込記号【オ】



申込記号【カ】



申込記号【キ】



申込記号【ク】



※当日のお弁当は、写真とは多少内容が異なることがあります。ご了承ください。

■ご宿泊

金沢市内の宿泊施設をご用意しております。

○宿泊日：2013年6月12日（水）・13日（木）・14日（金）・15日（土）

○宿泊条件：1泊朝食付、サービス料・消費税込（一部、軽食のホテルもございます）

施設 記号	宿泊施設名	部屋タイプ・宿泊料金								アクセス
		6月12日（水）・13日（木）・14日（金）				6月15日（土）				
		シングル	申込記号	ツイン	申込記号	シングル	申込記号	ツイン	申込記号	
①	金沢エクセルホテル 東急	¥12,000	S-①	¥8,500	T-①	¥13,000	SS-①	¥10,500	TT-①	金沢駅より、バスにて20分 大会会場へは、徒歩15分 分科会場へは、徒歩5分
②	金沢白鳥路ホテル	¥11,000	S-②	¥8,000	T-②	¥15,000	SS-②	¥11,000	TT-②	金沢駅より、バスにて13分 大会会場へは、徒歩25分 分科会場へは、徒歩20分
③	金沢ニューグランドホテル (アネックス又は本館)	¥8,000	S-③	¥7,000	T-③	¥8,500	SS-③	¥7,500	TT-③	金沢駅より、バスにて15分 大会会場へは、徒歩18分 分科会場へは、徒歩5分
④	ホテルリソルトトリニ ティー金沢	¥7,500	S-④	設定なし		¥8,000	SS-④	設定なし		金沢駅より、バスにて12分 大会会場へは、バスにて10分 分科会場へは、バスにて8分
⑤	アパホテル金沢中央		S-⑤	¥6,500	T-⑤	¥8,500	SS-⑤	¥7,500	TT-⑤	金沢駅より、バスにて23分 大会会場へは、徒歩15分 分科会場へは、徒歩5分
⑥	KKRホテル金沢	¥7,000	S-⑥	¥7,000	T-⑥	¥8,000	SS-⑥	¥8,000	TT-⑥	金沢駅より、バスにて10分 大会会場へは、徒歩20分 分科会場へは、徒歩25分
⑦	金沢スカイホテル		S-⑦	¥6,000	T-⑦	¥7,000	SS-⑦	¥6,000	TT-⑦	金沢駅より、バスにて10分 大会会場へは、バスにて15分 分科会場へは、バスにて10分
⑧	東横イン金沢 兼六園香林坊	¥6,000	S-⑧	¥6,000	T-⑧	¥6,500	SS-⑧	¥6,500	TT-⑧	金沢駅より、バスにて15分 大会会場へは、徒歩15分 分科会場へは、徒歩5分
⑨	ANAクラウンプラザ ホテル金沢	¥14,000	S-⑨	¥12,000	T-⑨	¥14,000	SS-⑨	¥12,000	TT-⑨	金沢駅より、徒歩3分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑩	ホテル日航金沢	¥13,000	S-⑩	¥12,000	T-⑩	¥13,000	SS-⑩	¥12,000	TT-⑩	金沢駅より、徒歩3分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑪	ホテル金沢	¥9,500	S-⑪	¥8,500	T-⑪	¥9,500	SS-⑪	¥8,500	TT-⑪	金沢駅より、徒歩3分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑫	ドーミーイン金沢	¥9,000	S-⑫	設定なし		¥9,000	SS-⑫	設定なし		金沢駅より、徒歩3分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑬	金沢都ホテル	¥8,500	S-⑬	¥6,500	T-⑬	¥8,500	SS-⑬	¥6,500	TT-⑬	金沢駅より、徒歩3分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑭	ヴィアイン金沢	¥7,500	S-⑭	設定なし		¥7,500	SS-⑭	設定なし		金沢駅より、徒歩1分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑮	アパホテル金沢駅前	¥7,000	S-⑮	¥7,000	T-⑮	¥7,000	SS-⑮	¥7,000	TT-⑮	金沢駅より、徒歩2分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分
⑯	ホテルルートイン 金沢駅前	¥6,000	S-⑯	設定なし		¥6,000	SS-⑯	設定なし		金沢駅より、徒歩5分 大会会場へは、バスにて20分 分科会場へは、バスにて15分

(※日本旅行金沢支店が企画・実施する募集型企画旅行です)

■金沢観光ツアーのご案内（手配旅行）

●観光ガイドタクシーのご案内

NO.1 金沢市内 - 兼六園 - ひがし茶屋街 - 金沢市内

所要2時間 【小型15,000円】

NO.2 金沢市内 - 兼六園 - 金沢城公園 - 長町武家屋敷跡 - 妙立寺(忍者寺) - 金沢市内

所要4時間 【小型25,000円】

※その他コース、車種の大きさもございます。詳しい内容はFAX（様式問わず）で、お問合せください。

■変更・取消について

●インターネット申込の方

- ・受付期間内(5/31(金)正午 12:00 まで) : W E B 上にて何度でも変更が可能です。
(人員増減・名前・申込内容など)
- ・受付締切後(5/31(金)正午 12:00 以降) : 書面 (F A X 等) にてご連絡下さい。なお、申込内容は閲覧いただけます。

※大会参加自体を取り消される場合は、受付期間内であっても、必ず書面(FAX 等)にてご連絡ください。

● F A X 申込の方

申込書の控えに直接、変更・取消内容をご記入いただき、必ず改めて F A X にてご連絡願います。

<インターネット・F A X 申込の共通注意事項>

- (1)お電話による変更・取消はお受けいたしかねますのでご了承ください。
- (2)早割の場合、申込済のプレ企画、弁当の変更受付は、5月10日(金)正午12:00までです。
- (3)早割期間内に参加申込みをし、早割締切後に「プレ企画」「大会・学術集会」の追加変更をされた場合、通常の参加費になります。
- (4)変更・取消による清算は大会終了後に行います。大会当日会場でのご返金は出来かねますので、予めご了承ください。
- (5)お客様のご都合でご予約を取消される場合、以下の取消料を申し受けます。予めご了承ください。

<取消料>

◆参加費・懇親会・弁当代の取消・変更手数料

取消日	お申込～5/31(金)	6/1(土)～6/6(木)	6/7(金)～当日	旅行開始後・無連絡
大会・学術集会	無料		100%	
プレ企画				
懇親会費	無料		100%	
弁当代				

◆宿泊の取消・変更手数料

取消日	21 日前まで	20 日～8 日前	7 日～2 日前	前日	当日	旅行開始後・無連絡
宿泊費	無料	20%	30%	40%	50%	100%

- ・取消の基準日時は、日本旅行(株)金沢支店の営業日・営業時間内の通信を有効といたします。
- ・取消後の返金につきましては、大会・学術集会終了後、上記の申込取消時期に応じた取消料および登録代行手数料(525円又は840円)、振込手数料を差し引き、お客様ご指定の口座へ送金いたします。
- ・取消料無料の期間であっても、費用振込を済まされている場合は、返金にかかる事務手続きが発生するため、登録代行手数料(525円又は840円)振込手数料をご負担いただくこととなります。
- ・大会・学術集会参加費をお支払された方で、当日欠席された場合、大会終了後に本部事務局より大会資料をお送りいたします。事務整理上、多少の日数がかかります。なお、ご連絡なく当日欠席された場合は全額ご請求させていただきますので予めご了承ください。

●募集型企画旅行契約 本大会のためにご案内する宿泊につきましては、ツーリストクラブ石川 白山営業所の委託契約により(株)日本旅行金沢支店が旅行企画、実施するものであり、申込みいただくお客様は、弊社が定める「旅行業約款募集型企画旅行契約の部」を締結することとなります。

●個人情報の取扱について 弊社金沢支店は、本大会に際しご提出頂いた個人情報につきましては、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の手配の為に利用させていただくほか、必要な範囲内において委託契約業者及び当該機関等に提出させていただきます。また精算等の関係上、保管期間は本大会終了後最長1年間までとし、期間終了後速やかに破棄させていただきます。上記の他、弊社の個人情報の取扱に関する方針については弊社の店頭またはホームページでご確認ください。(http://www.nta.co.jp/)

【早割/懇親会/弁当に関するお問い合わせ】

ツーリストクラブ石川 白山営業所
TEL 076-274-7787 / FAX 076-274-7717
 〒924-0805 石川県白山市若宮3丁目35
 営業時間 月～金 09:00～17:30
 土曜日 10:00～17:00 (日・祝・休業)
 担当：天王地・木村

【宿泊に関するお問い合わせ(委託契約業社)】

(株)日本旅行 金沢支店
TEL 076-253-5252 / FAX 076-253-5253
 〒920-0005 石川県金沢市高柳町9-1-1
 営業時間 月～金 09:30～17:30 (土・日・祝・休業)
 担当：濱口・徳富

第49回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会／第12回日本精神保健福祉士学会学術集会

申込先FAX: 076-274-7717

＜参加・宿泊申込書＞

申込日: 月 日

※登録代行手数料はFAX申込840円、インターネット申込525円です。

各種参加券・請求書等送付先	都道府県	ご所属先	申込代表者
〒	〒	〒	TEL
ご住所	〒	〒	FAX
			屋間の連絡先

※参加プログラムはP.2を、弁当・宿泊等はP.20以降をご参照ください。 ※人数把握のため、シンポジウム・分科会の希望もとらせていただきますが、移動は自由です。

NO	プリカナ 参加者氏名	性別	参加区分 構成員は会員番号を必ず記入	参加形態	ブレ企画		シンポジウム分科会	参加費	懇親会	事務費	屋食弁当				手話通訳等の希望	費用合計	備考 (同室希望者氏名等)
					1~3	4~6					1	2	14(金)	15(土)			
例	イシカワ ハナコ 石川 花子	男	■日本協会構成員 NO. 345678 □非構成員 □学生	■ブレ+大会 □ブレのみ □大会のみ	第1希望 1 第2希望 2	第1希望 5 第2希望 4	1-① Sym2	6,13~15 10,000円 □通常 円	○ 7,000 円	840	ア	ク	T-1 T-1 T-1 T-1	TT-1 T-1 T-1 T-3	55,540円	禁煙・喫煙 ・どちらでもよい 金沢 梅子	
1			□日本協会構成員 NO □非構成員 □学生	□ブレ+大会 □ブレのみ □大会のみ	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	第1希望 第1希望	□早割 円 □通常 円		840						禁煙・喫煙 ・どちらでもよい	
2			□日本協会構成員 NO □非構成員 □学生	□ブレ+大会 □ブレのみ □大会のみ	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	第1希望 第1希望	□早割 円 □通常 円		840						禁煙・喫煙 ・どちらでもよい	
3			□日本協会構成員 NO □非構成員 □学生	□ブレ+大会 □ブレのみ □大会のみ	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	第1希望 第1希望	□早割 円 □通常 円		840						禁煙・喫煙 ・どちらでもよい	
4			□日本協会構成員 NO □非構成員 □学生	□ブレ+大会 □ブレのみ □大会のみ	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	第1希望 第1希望	□早割 円 □通常 円		840						禁煙・喫煙 ・どちらでもよい	
5			□日本協会構成員 NO □非構成員 □学生	□ブレ+大会 □ブレのみ □大会のみ	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	第1希望 第1希望	□早割 円 □通常 円		840						禁煙・喫煙 ・どちらでもよい	

※冊子P18以降をお読み頂き、取消料や個人情報の取扱について同意の上お申込みください。

* 払戻し返金時の振込先口座(必ずご記入下さい)

金融機関名	支店名	口座種目	口座番号	口座名義(フリガナ)
		当座・普通		

(障害を理由とするご希望の配慮の詳細など)

総計

● 早割申込締切日: 2013年5月10日(金) 正午12:00、通常申込締切日: 5月31日(金) 正午12:00
 ● 申込が6名様以上の場合、用紙をコピーしてご使用ください。申込書は控えて必ず保管してください。
 ● 日本精神保健福祉士協会構成員の方は会員番号を必ずご記入ください。賛助会員は「構成員」区分です。
 ● 構成員の方は、「学生」区分での参加はできません。学生会員は「学生」区分です。
 ● プレ企画については定員になり次第締め切らせていただきます。
 ● ご参加に係る入金締切日や書類発送は、本書にてご確認ください。
 ● 禁煙ルームご希望の方は備考欄にご記入ください。(但し希望に添えない場合がございます)
 ● 障害を理由とする配慮をご希望の方は右記欄にご記入ください。

【早割/懇親会/弁当に関するお問い合わせ】
 ツーリストクラブ石川 白山営業所
 TEL 076-274-7717
 FAX 076-274-7717
 〒924-0805 石川県白山市若宮3丁目35
 営業時間 月~金 09:00~17:30 土曜日 10:00~17:00 (日・祝・休業)
 担当: 天王地・木村

【宿泊のお申し込み・お問い合わせ(委託契約業社)】
 株式会社 金沢支店
 TEL 076-253-5252
 FAX 076-253-5252
 〒920-0005 石川県金沢市高柳町9-1-1
 営業時間 月~金 09:30~17:30 (土・日・祝・休業)
 担当: 濱口・篠宮

弊社記入欄

〈領収書発行依頼書〉

FAX : 076-274-7717

(ツーリストクラブ石川 白山営業所)

ご希望のお客様へ『領収書』を発行いたします。

下記に必要事項をご記入のうえ、6月7日(金)17:30までに弊社宛にFAXしてください。

◆大会参加費(プレ企画、全国大会・学術集会):「社団法人日本精神保健福祉士協会」にて発行
当日、ツーリストクラブ石川ブースにて入金確認後にお渡しいたします。

◆大会参加費以外(宿泊・懇親会・弁当等):「ツーリストクラブ石川」にて発行
本冊子に必要事項をご記入のうえ、事前にFAXして下さい。
当日、ツーリストクラブ石川ブースにてお渡しいたします。

〈都道府県〉	〈所属先〉
_____	_____
〈申込者〉	〈受付No.〉
_____	_____
	(請求書又は回答書兼請求書に印字されている番号)
〈連絡先〉	〈入金総額〉
(受け取りに来られる方の携帯電話番号)	(月 日 入金済/予定)

◆内 訳◆

① 宛 名	様
金 額	円
但し書き	として
② 宛 名	様
金 額	円
但し書き	として
③ 宛 名	様
金 額	円
但し書き	として
④ 宛 名	様
金 額	円
但し書き	として
⑤ 宛 名	様
金 額	円
但し書き	として

【お問い合わせ先】

ツーリストクラブ石川 白山営業所 TEL 076-274-7787 / FAX 076-274-7717

〒924-0805 石川県白山市若宮3丁目35 担当:天王地・木村

営業時間 月~金 09:00~17:30 土曜日 10:00~17:00 (日・祝・休業)

会場周辺図



公共交通機関ご利用のアクセス

全国大会・学術集会(13日、14日)会場まで

- JR金沢駅からタクシーをご利用の場合
JR金沢駅東口から約15分
- JR金沢駅からバスをご利用の場合
北陸鉄道バス 金沢駅東口から約20分
駅東口バスのりば10番より「東部車庫」「金沢東高校」「金沢学院大学」行乗車、本多町にて下車(金沢歌劇座向い側停車)
- 飛行機をご利用の場合
 - ・小松空港からタクシーで約45分
 - ・小松空港から金沢市内經由リムジンバスで50分、香林坊下車徒歩約5分

懇親会全国大会・学術集会(15日)会場まで

- JR金沢駅からバスをご利用の場合
[路線バスで]香林坊経由バス約10分
- 全国大会会場から懇親会会場まで徒歩約10分